

## Q & A

### 【応募について】

Q.1 ユニットまたはグループでの応募は可能ですか？

A.1 基本的に可能ですが、その際の制作補助費はグループの人数に関わらず、屋内展示作品上限 1 組 10 万円、屋外展示作品上限 1 組 20 万円となります。

Q.2 応募書類は別紙にて提出は可能ですか？

A.2 応募者の連絡先や経歴を記載する書面(書式 1)については、原本に記載ください。作品制作プランなどは A4 の書面であれば別紙での提出は可能です

Q.3 作品制作プランはどのくらいの内容まで書けばよいですか？

A.3 実際に現地にリサーチに行ったのちに、内容が多少変化することも含んだプランで大丈夫です。「飛鳥／明日香村」のどの要素に関心があるか(現地でリサーチするもの)、それを踏まえてどのような作品を発表したいかを、実現の可能性を想定してまとめてください。

Q.4 「交流事業」とはどのような内容を指しますか？

A.4 明日香村またはその周辺の住民の方々と、当プログラムでの一連の活動の中で何らかのかたちで交流(コミュニケーション)していただくことを参加の条件にしています。例えば、展覧会に出品する作品の制作に関するリサーチや題材の収集に際して地元住民の協力を仰いだり、出品作品の共同制作、展覧会開催中にワークショップを実施するなどが挙げられます。展覧会の出品作品に直接関与するかどうかは問いません。また、その際の地元住民の方々との仲介・協力交渉については、村役場スタッフがサポートします。

Q.5 事前説明会や会場見学の機会はありますか？

A.5 希望があれば随時開催します。希望される方は、メール又は電話にてお問合せください。

### 【プログラムについて】

Q.6 現地で制作することが必須ですか？

A.6 必ずしも現地で作品を制作する必要はありません。ご自身のアトリエで制作したものを、ご自身で運んで作品展示(展覧会)の際に搬入していただいても構いません。もし現地で制作するためのスペースが必要な方は、担当者にその旨お伝えいただければ、スペースの提供は可能です。(使用料無料でご用意できるスペースはあります)

Q.7 現地の滞在のための宿泊施設の提供はありますか？

A.7 制作補助費に宿泊費は含んでおりますので、現地で宿泊にかかる費用は実費にてご負担ください。宿泊施設の紹介・仲介は村役場スタッフが対応します。

Q.8 展覧会の展示プラン(作品配置や規模)は、どのような流れで決まりますか？

A.8 公募で採用された作品プランをもとに、随時現地に入ってリサーチや制作を進めていく中で、進捗状況をプログラム・コーディネーターが確認して(またはアーティストからの報告を受けて)、随時アーティストと相談の上で展示プランを固めていくという流れになります。

Q.9 展覧会会場の仕様について

A.9 今年度の会場となる「南都明日香ふれあいセンター犬養万葉記念館」の仕様につきましては、展覧会会場の資料をご確認いただき、ご質問などがありましたら、募集期間中にお尋ねいただいても構いません。特殊な展示を希望または検討されている方は、応募時の作品プランに想定される内容を必ず記載してください。屋内展示枠 2 名、屋外展示枠は 1 名を予定しています。

Q.10 作品展の搬入・搬出について

A.10 搬入・搬出に関わる作品の運搬と展示・撤収作業は、原則としてアーティスト本人がおこなうようにしてください。搬入・搬出時は村役場スタッフが数名おりますので、多少のサポートは可能です。運送会社を使っの事前搬入による作品・備品の受け取りは、荷物の大きさによりますが可能です。

Q.11 作品展会期中の対応について

A.11 会期中は、犬養万葉記念館職員が常駐しています。会期中のメンテナンスは可能な限りで対応しますが、細やかな作品管理や機械類を使用する際には、必ずマニュアルを作成するようにしてください。また館職員はアート専門の人間ではありませんので、その辺もご留意の上ご対応ください。